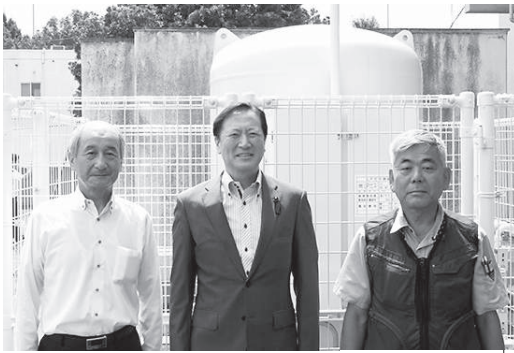


# LPガス LPG 全小学校体育館に導入 府中市 避難所機能強靱化へ

府中市（高野律雄市長）は今夏、東京都公立学校屋内体育施設空調設置支援事業補助金を利用して市の災害対応意識から都

市ガスの強靱性を発揮す  
ら、災害時には全校が避難所として活用されLP



①バルクの前に並ぶ（左から）服部哲男・都協専務理事、谷村孝彦・都議会議員、高橋淳二・都協北多摩南部支部長  
②体育館裏に設置されたGHP

る。8月31日に市立小柳小でGHP説明会が行われた。設置されたGHPは30馬力が19校、36馬力が2校、40馬力が1校の計682馬力となる。

東京都LPガス協会（尾崎義美会長）と同協会北多摩南部支部（高橋淳二支部長）は昨年12月から府中市にGHP設置を粘り強く提案していた

積み重ねが今回の導入につながった。府中市の事例が都内GHP導入への先駆けとなればと思う。東京都はLPガスGHPの知名度が薄い。1日でも早くLPガスを公共施設に導入し、いつ起こるか分からない災害にLPガスで対応できる体制を整えていきたい」と意欲を示した。

なか、都が今年2月に打ち出した同補助金が追い風となり導入が決定した。7月24日から工事を開始し、2学期開始に間に合わせた。小柳小では8月28日の始業式で実際に体育館のGHPを使用し好評を得た。31日の説明会では谷村孝彦・都議会議員が視察に訪れた。

高橋支部長は「実績の補正規模は538棟で実施期間は21年度まで。同補助金は東京都独自の補助金で規模は81億円。東京都環境公社に3年分の出えん金を拠出すること、区市町村立小中学校の屋内体育館施設の空調設置工事の経費を補助する。補助率は1平方メートル7・6万円まで都が最大3分の2補助する。補正規模は538棟で実施期間は21年度まで。